



発行所 一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会  
 発行者 甲田 裕  
 〒852-8104 長崎市茂里町 3-24  
 長崎県総合福祉センター 県棟 4F 408 号  
 Tel : 095-846-8730 Fax : 095-846-8738  
 E-mail : info@ikusei-nagasaki.jp  
 発行日:平成29年 6月 5日

# 第39回ゆうあいスポーツ大会開催

～なごみの里運動公園にて～



平成29年5月21日(日)県内より約5000名が集まり、皆さんの力強い入場行進で大会が始まりました。出場者のパワーある走りには、応援席からも歓声が上がり、競技や遊戯の中では、ほのぼのとした場面もみられ会場にも笑顔が広がりました。終日、暑い日差しが照りつける中でしたが、楽しい時間が過ぎていきました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

(育成会リレー) 1位:雲仙市 2位:大村市 3位:西海市



躍動感あふれるマーチング  
(長崎日大中高校吹奏楽部)

**お知らせ**  
**【長崎県手をつなぐ育成会定期総会】**  
 日時:平成29年6月17日(土)13:10~16:00  
 場所:長崎原爆資料館ホール

\* 議事の他に  
 「家族支援プロジェクトのこれまでの取り組み」(仮称)  
 の発表があります。

## 平成 28 年度 長崎県手をつなぐ育成会事業活動報告

### 1 共生社会の実現に向けて

障害者基本法をはじめ、あらゆる障害者施策の冒頭に「共生社会の実現」が謳われていますが、日常生活の中で「障害を意識しない社会づくり」を定着させるためには、相当な時間を要すると思量しています。

「共生社会」を意識しない、「あたりまえの社会づくり」をテーマに、当事者、支える団体が主人公となって、組織を越えた連携と協働により国民的県民的な理解がさらに広がる運動を推進しました。

- ・第 56 回九州地区手をつなぐ育成会長崎県大会において、「がんばらば 共にくらす 心豊かな明日（みらい）づくり」を掲げた大会は、共生社会の実現に向けて、一歩前に踏み出すことができたと考えています。しかし、地域に暮らす皆さんの理解を得るには、これまで以上地道な努力の積重ねも必要であることを、運動体として確認しておくことが大切です。
- ・「神奈川県立やまゆり園」の事件を受けて、県身体障害者連合会・県精神障害者家族連合会と当会の 3 団体は、県議会議長に対して「相模原障害者施設殺傷事件に関する意見書」を提出しました。（9 月 7 日）県議会議員連盟の下、県議会議長名をもって、国に対して意見書が提出されました。（10 月 6 日県議会で可決）

### 2 当事者の「意思決定」を支えるために

障害者総合支援法の 3 年後の見直し審議会で議論された「意思決定支援」は、研究段階としながらも「障害者の意思決定支援・成年後見制度の利用促進の在り方」（平成 27 年 9 月 8 日）として示されました。

このガイドラインを用いながら事例研究、育成会組織での意見展開を図りながら「意思決定支援」について理解を深めることとしました。

具体的には、① 長崎県補助金事業を活用した地域での事例探し研究。② 知る見るプログラムの普及活動を推進する中での本人の新しい発見と、更なるレベルアップを図ることにより、意思表示と表現する楽しさや、合わせて支援の在り方について学ぶ機会をつくりました。

- ・意思決定に関する意見交換は第一ステップを終えた段階であり、次年度以降も各地で開催いたします。
- ・知る見るプログラムの普及活動にも力を注ぎます。これには、本人の意思決定の資質のレベルアップを高めるツールとして効果的であると確信して推進を図ります。

### 3 地域活動充実のために

「知的障害者の権利を守る」を旗印に進めている手をつなぐ育成会が、「新しい朝」をつくりだすためには、小さな社会貢献を積み重ねていくことが大切となります。一見、育成会活動に即していない事項でも、積極的に取り組む姿勢が求められています。特に、自助・共助が叫ばれる今日、自らその任を担うことで組織の継続的な発展に繋がるものと確信して前に歩みましょう。

具体的には、地域に密着した環境美化貢献など従前の活動に加えて「文化活動、創作活動の充実」「家族支援のステップアップ」をテーマに力を注ぎます。

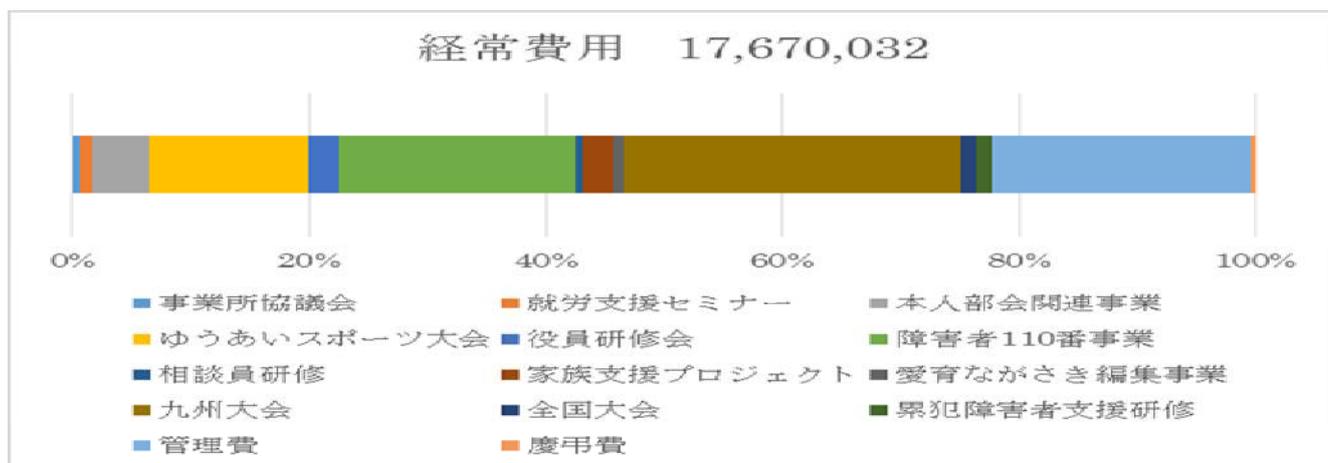
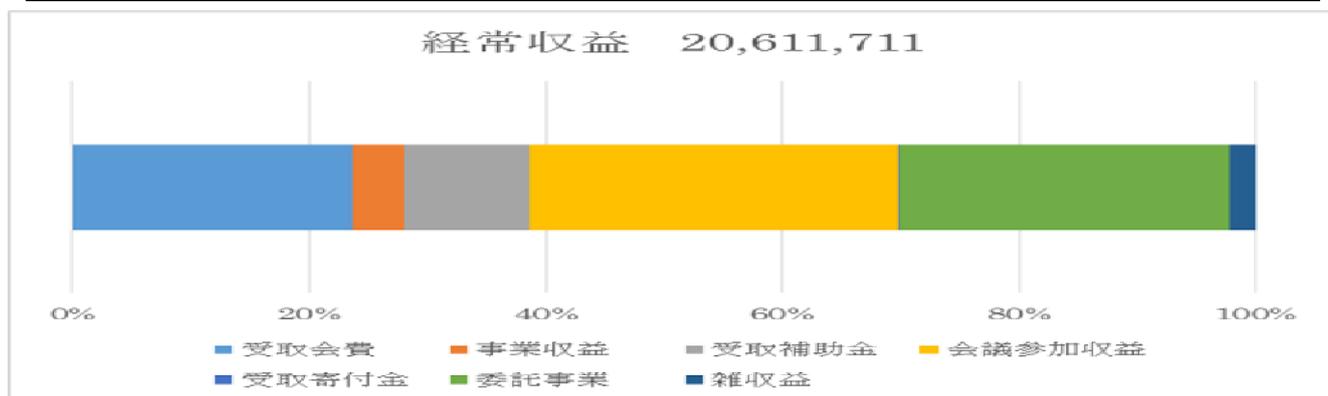
なお、成年後見制度については、この一年知見を広める工夫を図りました。

- ・全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センターでは「親と知的障害がある子の高齢化に向けて」の冊子発行をめざしていましたが、さまざまな制度の改革が過渡期であること等の背景が考慮され、「報告書」の形式で発表されました。今後の推移をみて、全国育成会連合本部での冊子発行となります。「報告書」は、当事者の生活基盤を考える上での手引きとして活用できますので、研修会等に活用してください。
- ・全国手をつなぐ育成会連合会では、「地域育成会活性化のための研修等事業費助成制度」を設け、育成会活動の活性化を計ることを目的に、各種研修の助成を行っています。是非、地域育成会で企画し助成金を活用ください。（一件 20 万円まで助成 2016 年度は諫早市手をつなぐ育成会が利用）
- ・小さな社会貢献事例は  
 島原市育成会：「がまだすマラソン大会」「ひまわりキャンプ」  
 長崎市育成会他：事業所単位等のアダプト活動、地域の各種イベント参加等  
 上記事例を参考に、各育成会において「地域との絆を深める貢献」を検討し、具体化を図って下さい。特に、事業を展開されていない育成会において企画されることを望みます。

## 平成 28 年度 長崎県手をつなぐ育成会 決算(概要案)

単位：円

1 経常収益		2 経常費用（事業費ごとに計上）	
受取会費	4,893,000	意思決定支援推進会議	1,014,135
正会員会費	4,188,000	事業所協議会	106,124
賛助会員会費	705,000	就労支援セミナー	169,677
事業収益	874,535	本人部会関連事業	794,475
受取補助金等	2,210,155	ゆうあいスポーツ大会	2,271,041
運営費	922,000	役員研修会	412,326
役員研修費等	158,155	障害者 110 番事業	3,364,438
意思決定支援	710,000	相談員研修	96,736
共同募金	420,000	家族支援プロジェクト	415,030
会議参加収益	6,424,600	愛育ながさき編集事業	147,106
受取寄付金	30,000	九州大会	4,760,329
委託事業	5,722,974	全国大会	230,014
スポーツ大会	2,057,143	県大会	—
障害者 110 番	3,141,260	累犯障害者支援研修 (TS)	218,507
本人部会関連	524,571	管理費	3,610,094
雑収益	456,507	慶弔費	60,000
経常収益計	20,611,771	経常費用計	17,670,032



## 27 年度決算との比較

27 年度収入 15,091,107 に対して 収入割合は 137% (九州大会抜きの場合 93%)  
 27 年度支出 15,839,177 に対して 支出割合は 116% (九州大会抜きの場合 82%)

**初の試み！発表者選考オーディション**

本人活動サポーター マネージャー  
吉井 裕子（長崎市）

今年8月に予定されている「九州地区手をつなぐ育成会佐賀大会」の本人部会に参加する長崎県代表を選出するために、初の試みとして3月26日にオーディションを開催しました。これは2月に開催された長崎県育成会本人部会「長崎きずな」連絡協議会の中で、複数の希望者があった場合はどうやって決めるかということ話し合い、最終的に「オーディション」という方法になりました。各育成会の発表希望者6名が「私の夢」「私の言いたいこと」などのテーマで意見を発表し、「バスに乗るたびに療育手帳を見せるのは大変。」「好きな人と結婚したい。」「幸せはその人次第だが、夢を途中であきらめず、一歩ずつ進むことで素敵な人生になる。」「いじめに遭い、不登校になったが、和太鼓を通じて自信が持てるようになった。」「支援を受け結婚した。この幸せが続くよう奥さんを大事にしたい。」など、自己紹介や仕事の事、悩みや夢など、それぞれの思いを堂々と発表されていました。みなさんの発表に甲田会長をはじめ、「長崎きずな」のメンバーや支援者が熱心に耳を傾け、「声の大きさ」「分かりやすさ」「発態度」などの項目が書かれた選考用紙にチェックを付けていきました。それをもとに選んだ1名を投票した結果、長崎市育成会の藤田匠美さんが代表に選ばれました。藤田さんは「自分が作業のスピードが遅く、慌てると失敗するし、失敗すると注意されて不安になる。誰にもその人のペースがあるから信じて見守ってほしい。」と話され、票を集めました。「佐賀大会では頑張ってきます。」とみなさんの拍手に応え笑顔で挨拶されていました。



**第17回全国障害スポーツ  
「笑顔つなぐえひめ大会」  
各団体競技 九州代表を獲得**



4月に入り、障害者団体競技の選手の皆さんは「えひめ大会」の出場をめざして、九州ブロック予選会に参加。5月末までの成績は、「知的障害者女子バスケットボール」「知的ソフトボール」「知的サッカー」「聴覚バレーボール」チームが優勝。九州ブロックを代表して、全国大会に参戦することができています。

6月の始め「車椅子バスケットチーム」の予選会が開かれます。このチームは昨年、全国制覇を果たしていますので、連続制覇が期待されています。

「長崎がんばらんば大会2014」の成果がさらに進化を続けている証です。  
皆さん、応援よろしくお願いします。

第17回  
全国障害者スポーツ大会愛媛大会  
日時：平成29年10月28～30日  
場所：愛媛県総合運動公園他(松山市)



**長崎県手をつなぐ育成会 事業所協議会報告**

大村手をつなぐ育成会

大村さくらの家 施設長 原口健一

年1回開催されます長崎県手をつなぐ育成会事業所協議会が4月14日（金）県育成会、各市育成会より19名の参加の下開催されました。

まず、各事業所からの現況報告では、様々な現状や今後の課題について発表があり、他の参加事業所との意見交換もでき、とても共感もて、今後の事業運営にもいかせる内容ばかりでした。次に、全国事業所研修大会の報告では、協議会副会長菅氏より、大会のテーマ「次世代」についての報告があり、今後の次世代に「どう引き継いでいくか」「どう育成するか」等の意味深い内容の報告がありました。各育成会・事業所の課題でもある「次世代」という事は念頭におかなければならない大切なことだと思います。

さて、今回の事業所協議会の研修として、6次産業プランナーである武田龍吉氏より講話をお聞きしました。6次産業とは第1次、第2次、第3次産業を統合して新しい分野の産業を創造していくというもので、「農業」と「福祉」の連携を行うことで工賃の向上にもなり、又 障害の特性に応じた作業が可能であること、一般就労に向けた体力・精神面での訓練も可能であること等話されました。また、地域とのつながりがうまれるといったメリットがあることから、農業を取り入れる福祉施設が増えているといった内容でした。農業を取り入れた6次産業の考え方の基本は、私たちの事業所にとっても有効となり得るであろうと興味深く話を聞くことができました。今後も、事業所協議会で各育成会・事業所との横の連携を深め、より一層事業所が飛躍するように努めていきたいと思っています。

**全日本手をつなぐ育成会連合会**

「2016年度地域育成会活性化のための研修等助成事業」

**又村あおい氏講演会**（全国手をつなぐ育成会政策センター委員）

- (1) 日時 平成29年3月19日（日）13:30～16:30  
 場所 諫早市健康福祉センター 多目的ホール  
 演題 「平成30年 どう変わる 障害福祉」
- (2) 日時 平成29年3月20日（日）9:30～12:00  
 場所 諫早市民センター



諫早手をつなぐ育成会が創立50周年を迎えるにあたり、記念行事の一環として全国育成会連合会より2016年度地域活性化のための研修等助成事業の助成金を受け、「又村あおい氏」を迎えて2日間にわたり講演会を開催することができました。

1日目は育成会会員、講演内容に関心をもたれる福祉関係者や一般市民を対象に220名を超える参加者で、総合支援法の見直しについてわかりやすくお話をさせていただきました。2日目には、育成会役員、法人職員を対象に「地域生活拠点事業の進め方」と題し、講演会というよりは又村氏を囲んで語り合う会という形態になりました。

又村氏のお話はとてもわかりやすいものでしたが、これから地域福祉を推進してしくとなると行政や地域が一丸となって取り組まないといけないことばかりで、実際に取り組むとなると突破しなければならない課題は多いと感じました。しかし、この助成事業をきっかけに、各年齢層に応じた研修会等を毎年続けることで、若い保護者の方に関心を向けていただき、また諫早育成会の活性化に繋げていくべきことだと改めて感じました。（諫早市手をつなぐ育成会 中山千鶴）

ながさき  VE 地域で育成会！

**松浦市育成会**

**がんばってま〜す！**

松浦市手をつなぐ育成会の現況を紹介します。

松浦市育成会は、その年度の定期総会で会費（年額3,000円）を納入された方々で会員構成をしています。従って、会員数は毎年変わり、近年は30名前後で推移しています。

会員の高齢化は年々進んでおり、70歳以上が殆どで60歳以下は数名です。また、本人会員は5~6名で市内の就労支援B型事業所に通所している方を除き、市外の施設での入所・入院という形で高齢化も進んでいます。平成27年2月発行「松浦市障害者計画」関係資料「障がいの程度からみた知的障がい者数」（25年度資料）は、A1（48名）・A2（59名）・B1（89名）・B2（106名）計302名となっています。松浦市育成会では、基本的にはこの「302名」の保護者と共に、「市・県・全国の皆さんと共に、手をとりあって頑張っていきたい」と考えていますが、個人情報保護の観点から育成会からの該当者への連絡方法・呼びかけの手段が限られている現状です。現段階では、過去約20年前から使われていた「総会案内発送名簿」（現状では保護者死亡・転居・保護者変更など、案内状が届かないなど名簿そのものに問題があるため）を見直しており、50名あまりに絞った名簿

作成をまとめつつあります。次年度からは、この名簿をもとに育成会の望みに一歩ずつでも近づいていきたいと思えます。今後は、事務局の在り方を見直し、通信費等を充実した予算を作り、会員意識のある方々に対して、「愛育ながさき」や、「市育成会だより」を届け、育成会の大切さを広げられるよう努めていきたいと思っています。その活動を通して口コミも含めて、「手をつなぎ、手を携えて生きていく拡がり」に望みをかけたいと思っています。



法律相談会

28年・月	年間活動内容
3月	役員会・理事会（28年度に向けて）
5月	監査 ・ 定期総会
6月	地区支部会開催 県理事会・県育成会定期総会 市社会福祉協議会評議員会
7月	県北地域相談員研修会（県育成会主催）参加
8月	九州地区育成会 長崎県大会参加
10月	地域相談員研修会（県教委主催）参加
11月	県理事会、市社会福祉協議会評議員会
1月	平戸・松浦地区「意思決定支援研修会」（県主催）
2月	障害者110番「無料法律相談会」（県主催）役員会・会員懇親会
3月	市社会福祉協議会評議員会、県理事会、役員会・理事会



平成28年度 賛助会員 (平成29年5月11日現在 敬称略)

本年度も長崎県手をつなぐ育成会へのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

氏名	所属	施設長名	所属	施設長名
高木 義明	株式会社 わかば	山田 達美	明けの星寮	永代 秀二郎
金子 原二郎	株式会社やまびこ学苑	山田 勝彦	(株)西海福祉の森	水野 昌昭
川崎 祥司	児童デイサービス スマイル	馬場 是光	たんぼぼの里	山口 文広
深堀 浩	平戸市療育支援センター あったかさん21	山口 文広	たんぼぼの里 大川原作業所	山口 文広
下条 ふみまき	あじさいの家	大平 博幸	ワークプラザ松浦	大久保 ひろ子
野本 三雄	長崎リハビリテーション	田中 和章	壱岐國の里	川原 裕喜
ごうまなみ	NPO法人爆タクラブ	沖永 ちえみ	社会福祉法人結の会	割石 賢明
坂本 浩	社会福祉法人長崎博愛会		ワークハウスほのぼの	米田 真喜
宮内 雪夫	松光学園	本田 和弘	杉の木ホーム	須賀 博司
吉村 庄二	清華学園		あゆみ園	財部 久仁信
吉村 洋	光のフェアリー	森藤 真須美	NPO法人五島あすなろ会	土岐 達志
大久保 潔重	つくしの里	山口 ヨシ子	ほっとホーム富希	川元 恵
中村 和弥	みさかえの園第二めぐみの家	齋木 初江	ふじ学園	杉 秀宣
里脇 清隆	さつき園		五島市はまゆう福祉作業所	平松 愛
山田 博司	障害者支援施設 こざくら学園	井石 美穂子	富江町桑の実作業所	松崎 栄子
中島 浩介	NPO法人星のくま	磯田 正也	社会福祉法人 福江福祉会 五島育成園	杉 徹也
三好 徳明	NPO法人障害者就労支援センター	伊達木 百合子	けいふはうす	長谷川 英樹
中島 廣義	(社福)恵風会 そよ風の里	高濱 浩	医療法人栄寿会 ふれあいの広場はるの	
	社会福祉法人ゆうわ会	竹内 一	互隣の家	古庄 正輝
	(社福)長崎市社会福祉事業協会	田中 信春	ありえ未来ワークセンター	井上 勝
	(社福)むすび会 おおぞら作業所	吉木 利徳	ワークプラザ上五島	浦方 松生
	つくし学園	森 誠	障害者支援施設 平戸祐生園	佐藤 慎一郎
	諫早ワークス	志賀 正幸	グループホームなめし	山田 順子
	大村さくらの家	原口 健一	ゆめホーム	
	(社福)三彩の里	江口 司	社会福祉法人コスモス会	本田 利峰
	あかつき学園	志賀 広子	グループホームのぐち1号・2号	
	普賢学園	本田 龍一	グループホームむなかた	桑原 明美
	多機能型事業所「エリア21」	辻 英三郎	ワークハウス	
	長崎基準寝具(有)	森田 泰	悠久会GH都久志荘	
	夢工房みどり	山田 順子	グループホームおおぐし1号・2号・かめだけ	
	さんらいず	田坂 嘉郎	ひかりホーム	
	ワークあじさい	寺田 隆二	自然寮	本田 雄峰
	社会福祉法人 武正会	北島 正一	小浦の里	
	障害福祉サービス事業「陽香里工房」	山田 直子	相談支援事業所 えくぼ	
	多機能型事業所 であいの家	森 和行	NPO法人インフィニティ	門畑 和也
	多機能型事業所 きらら		NPO法人インフィニティ	川上 鈴也
	千草野学園	桑原 節子	社会福祉法人 南高愛燐会	田島 光浩
	就労継続支援事業所のびのび	丸田 竜宏		平野 嗣雄
	シルク印刷工房 わくわくワーク	小森 誠治	佐世保市育成会	品川 桂子
	ネットワークセンターひかり	菅 敏洋		

**知的障害児者・自閉症児者のための**

## 生活サポート総合補償制度

(年間掛金) Aプラン: 17,000円、Bプラン: 23,000円

入院給付金  
  個人賠償責任保険金  
  葬祭費用保険金  
 死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各保険金

2016年4月より 新プラン誕生!!

新プラン(Bプラン)の主な特長は

- ★入院給付金 2日目から補償
- ★個人賠償 最高3億円まで補償
- ★ケガの入院を日額5,000円、通院を3,000円補償

既往症、てんかん発作など知的障害児者・自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。パンフレットのご用命は下記事務局または担当代理店へお問い合わせください。

(事務局) ながさき知的障害児者生活サポート協会

TEL: 095-893-5503 FAX: 095-814-1778

(担当代理店) ジェイアイシー九州

TEL: 092-791-7561 FAX: 092-791-7562



◆新しい年度の活動がはじまった。私たち日本人の多くは「正月」という節目が、新しく取り組みを始めるに相応しいタイミングと感じている方も多いことであろう。「日記をかく」「禁煙」「今年こそ資格取得を」等々。新しい年を迎えるにあたって何かにチャレンジと、心の準備としておもいを描いてきた。その中には、実現したのものもあるが、残念ながら三日坊主で諦めたものもあるはずであろう。◆大学入学・企業就労も、欧米並みの9月がよいのではと、議論がはじまっている。4月新学期とした理由は、大正時代に国家予算年度を4月～3月にしたことが大きな理由とか。国際化が進む中、欧米並みの9月が好ましいのではないかとも思ったりしている。◆昨年の暮れ、某新聞は「短評」の書き写しには、学校受験にも大いに役立つものがあると全紙面広告を掲載。書き写しに便利な「専用ノート」も販売するなどと伝えた。中には、この新年から始めた方もおられることであろう。日本語の乱れの指摘がなされ、パソコン・スマートホンの普及で「漢字が書けない」という声を聴くことが多くなった。文書の文字数は多くはないが、表現方法などあれこれ思考すると、小一時間は必要であろう。心落ち着かせる時間として使うには好都合な教材とし、その書き写しも悪くはない。各新聞社とも「コラム」欄には、その日々の出来事について、読み手に対して考えて欲しいことが要領よく伝えようとされている。この日々の積重ねが大切ではと、心に刻んでいる。◆春、真っ盛り。いや、初夏の季節の入口かもしれない。久留米ツツジなど、紅色が輝きを増す季節。手入れの行き届いた寄せ植えは、まとまりもあり、日本人が好む「桜色」「紅色」が冴える。「まあ・・きれい」という表現が相応しい。が、花が咲いたあとの剪定、お礼の施肥などの手入れを「さぼる」と、次の季節に「きれい」は答えてくれない。植物は正直である。◆「杉の子」のコーナーへの寄稿も今回が最後となる。諸先輩が築いて戴いた財産を、目減りさせることなく引継ができたかは、自信はない。これまで支えて下さった会員の皆さんに深く感謝。綺麗な花が咲くよう土台である土づくりに気配りしながら、良き肥やしを施して綺麗な花が育って欲しいと願い、次会長にバトンをお渡しする。(甲田 記)



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者（本人・家族）に関する教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全日本手をつなぐ育成会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。年間3,900円 B5版48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。  
申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

特別支援教育を必要とされている方のために生まれました。 広告

ぜんちの 個人賠償 弁護士費用 ケガ入院・通院  
**こども傷害保険**

権利擁護補償付傷害保険 (2015年創設)

- ◎ 個人賠償責任補償
- ◎ 権利擁護費用補償 (弁護士費用)
- ◎ ケガでの入院保障



特別支援学級に通う児童・生徒のために開発された、障がい児のための専用保険です。知的障がいや発達障がいのある子どもたちを、事故や虐待被害などからお守りし、安心した学校生活を送っていただけます。

詳しい資料のご用命は、下記代理店にお問い合わせいたします。

○取扱代理店

**有限会社 トータルサービス(担当:向井)**  
TEL 095-832-2430 FAX 095-832-2580  
〒850-0033 長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル5階

○引受保険会社

**ぜんち共済株式会社**  
ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒101-0032  
東京都千代田区岩本町3丁目5番8号  
岩本町シティプラザビル5階  
<http://www.z-kyosai.com/>

\*この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。